

## 平成 31 年度 第 1 回栄区セーフコミュニティ推進協議会議事録

日 時：平成 31 年 4 月 26 日（金）14 時 30 分～15 時 30 分

場 所：栄区役所新館 4 階 8 号会議室

出席者：【委員】

星崎会長（栄区長）、磯崎副会長（栄区連合町内会長）、宮田副会長（栄警察署長）、  
味上副会長（栄消防署長）、持田委員（笠間連合町内会自治会会長・防犯対策分科会座長）、  
田中委員（小菅ヶ谷連合町内会自治会会長）、細田委員（本郷中央連合町内会自治会会長）、  
山田委員（本郷第三連合町内会会長）、芦川委員（上郷東連合町会会長）、  
佐野委員（栄区民生委員・児童委員協議会会長）、  
片岡委員（こども安全対策分科会座長）、清水委員（スポーツ安全対策分科会座長）、  
森委員（交通安全対策分科会座長）、宮崎委員（児童虐待予防対策分科会座長）、  
湯瀬委員（高齢者安全対策分科会座長）、輿石参与（栄区議員団）

【栄区役所】

副区長、福祉保健センター長、土木事務所長、総務課長、区政推進課長、  
地域振興課長、福祉保健課長、こども家庭支援課長、学校連携・こども担当課長、  
土木事務所副所長、危機管理担当係長、企画調整係長、地域力推進担当係長、  
地域活動係長、生涯学習支援係長、事業企画担当係長、高齢者支援担当係長、  
こども家庭支援課担当係長、こども家庭支援担当係長、栄消防署庶務課長

### 1 開会

<事務局連絡要旨>

推進協議会委員の交代を報告。高齢者安全対策分科会座長に交代があり、湯瀬委員が就任。

欠席は、上郷西連合町会会長、日浦委員、江口委員、細川委員、大矢委員、二宮委員、小田原委員、田高委員、大桑参与、石渡参与、楠参与。

<区長挨拶要旨>

前年度の再認証取得への協力及び地域での活動に対する謝意と、本協議会での活発な議論への期待

### 2 議事

#### (1) セーフコミュニティ現地審査・再認証式典（平成 30 年度実施）について【報告】

事務局から資料に基づき説明

【質問・意見】特になし

#### (2) セーフコミュニティアンケートの集計結果について【報告】

事務局から資料に基づき説明

【質問・意見】特になし

### (3) 平成 31 年度セーフコミュニティ活動について

事務局から資料に基づき説明

#### 【質問・意見】

・さいたま市と十和田市で現地審査が実施されるということだが、それぞれの都市におけるセーフコミュニティ活動の特徴は何か。(持田委員)

⇒さいたま市は政令指定都市で人口規模が大きく、大都市ならではの手法が見られる。十和田市は3回目の審査で活動の積み重ねがある。(事務局)

・厚木市で開催されたアジア会議を聴講に行ったが、栄区からの参加者が少なかった。地域の活動者が他都市の事例を現地で見るのはとても良いことだと思う。また、8分科会は本当によく頑張っているが、一方で区民のセーフコミュニティに対する認知度が上がらない現状もある。次回の審査のことを踏まえると、地域が事業を説明できるくらいになることが望ましい。(持田委員)

### (4) 平成 31 年度セーフコミュニティ事業プロモーション活動について

事務局から資料に基づき説明

#### 【質問・意見】

・認知度向上のための取組は重要だと考える。「セーフコミュニティまつり」のようなイベントを開催するのも一案だろう。(持田委員)

・地域も認知度の向上に取り組むべきではないか。例えば地域でのイベントの冠に「セーフコミュニティ」をつけるというのも一案である。(細田委員)

・自治会の活動でも、折に触れセーフコミュニティのことを取り上げるようにしていくということも考えられる。(片岡委員)

⇒認知度の更なる向上に向けて、区としてもしっかりと取り組んでいきたい。(事務局)

### (5) 平成 30 年度の栄区セーフコミュニティ活動について【報告】

各分科会事務局から、平成 30 年度の実績について、資料に基づき説明

#### 【質問・意見】

・特になし